

看護学基礎教育で修得すべき地域看護の能力（コンピテンシー）（案）

— 学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時の到達目標に対する地域看護学会からの追加・変更（案） —

群	看護学基礎教育で修得すべき地域看護の能力（コンピテンシー）2016		学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時の到達目標（2011）	
	能力（表記変更提案）	新たに提案する卒業時到達目標	能力	卒業時到達目標
Ⅱ 根拠に基づき看護を計画的に実践する能力	7) 多様な場における個人と家族の生活を査定 (Assessment) する能力	<u>(1) 個人・家族の価値観や文化を理解し、生活している人として捉えることができる。</u> (2) 個人の生活を把握し、健康状態との関連を査定 (Assessment) できる。 (3) 家族の生活を把握し、家族員の健康状態との関連を査定 (Assessment) できる。 <u>(4) 健康課題を表出しない・できない個人とその家族を見出す必要性を理解できる。</u>	7) 個人と家族の生活を査定 (Assessment) する能力	(1) 個人の生活を把握し、健康状態との関連を査定 (Assessment) できる。 (2) 家族の生活を把握し、家族員の健康状態との関連を査定 (Assessment) できる。
	8) 生活の場としての地域の特性と健康課題を査定 (Assessment) する能力	<u>(1) 生活共同体としての地域（コミュニティ）を理解し、看護の対象としての関心を持つことができる。</u> (2) 地域の特性や社会資源に関する資料・健康指標を活用して、地域の健康課題を把握する方法について説明できる。 <u>(3) 個人、家族のアセスメントをとおして、地域の特性を推測し、潜在する健康課題を見出す方法について説明できる。</u> <u>(4) その地域でよりよく生活するために、必要な社会資源やサービスを査定 (Assessment) できる。</u> (5) 学校や職場などの健康課題を把握する方法について説明できる。	8) 地域の特性と健康課題を査定 (Assessment) する能力	(1) 地域の特性や社会資源に関する資料・健康指標を活用して、地域の健康課題を把握する方法について説明できる。 (2) 学校や職場などの健康課題を把握する方法について説明できる。
Ⅲ 特定の健康課題に対応する実践能力	10) 健康の保持増進と疾病を予防する能力	(1) 健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。 (2) 人の誕生から成長、発達、加齢までの生涯発達の視点を理解し、各発達段階における健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。 (3) 妊娠・出産・育児にかかわる看護援助方法について説明できる。 <u>(4) 個人・家族・集団・地域の相互の関係性を活かし、それぞれがもつ健康の保持増進、疾病予防の能力を高める看護援助方法について説明できる。</u> <u>(5) 健康課題を解決するために効果的な資源を考え、提案できる。</u> <u>(6) 健康課題を解決するために看護援助として必要な支援方法・教育技術について説明できる。</u> <u>例) 健康教育、患者教育、生活の場へのアウトリーチ、グループダイナミクスの活用</u> (7) 個人特性及び地域特性に対応した健康環境づくりについて説明できる。 (8) 健康増進に関連する政策と保健活動について説明できる。	10) 健康の保持増進と疾病を予防する能力	(1) 健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。 (2) 人の誕生から成長、発達、加齢までの生涯発達の視点を理解し、各発達段階における健康の保持増進、疾病予防のために必要な看護援助方法について説明できる。 (3) 妊娠・出産・育児にかかわる看護援助方法について説明できる。 (4) 個人特性及び地域特性に対応した健康環境づくりについて説明できる。 (5) 健康増進に関連する政策と保健活動について説明できる。
Ⅳ ケア環境とチーム体制整備に関する実践能力	15) 地域ケアシステムの構築・推進と看護機能の充実を図る能力	<u>(1) 個人・家族が地域で生活するために不足するケア資源を把握し、提案できる。</u> (2) 個人・グループ・機関と連携して、地域ケアを構築する方法について理解できる。 <u>(3) 地域のケアチームの目的と機能を理解し、地域のネットワークの必要性や形成のための方法を説明できる。</u> <u>(4) 地域ケアに携わる関係者の主体性を高める必要性を理解できる。</u> (5) 自主グループの育成、地域組織活動の促進について理解できる。 <u>(6) 地域ケアが継続的に機能するシステムを構築し・推進する必要性や方法を考えることができる。</u> (7) 地域における健康危機管理及びその対策に関わる看護職の役割について理解できる。	15) 地域ケアの構築と看護機能の充実を図る能力	(1) 自主グループの育成、地域組織活動の促進について理解できる。 (2) 個人・グループ・機関と連携して、地域ケアを構築する方法について理解できる。 (3) 地域における健康危機管理及びその対策に関わる看護職の役割について理解できる。
	16) 安全なケア環境の提供と健康危機管理にかかわる能力	(1) 安全なケアをチームとして組織的に提供する意義について説明できる。 <u>(2) 生活環境の安全性を査定し、危機を回避する必要性や方法を理解できる。</u> <u>(3) 災害の発生に備え、防災行動を理解し、安全に行動できるよう支援できる。</u> (4) 感染防止対策について理解し、必要な行動をとることができる。 <u>(5) 地域で流行する感染症を把握し、予防措置の必要性や方法を説明できる。</u> (6) 医療事故防止対策について理解し、そのために必要な行動をとることができる。	16) 安全なケア環境を提供する能力	(1) 安全なケアをチームとして組織的に提供する意義について説明できる。 (2) 感染防止対策について理解し、必要な行動をとることができる。 (3) 医療事故防止対策について理解し、そのために必要な行動をとることができる。
	17) 継続したケア提供と保健医療福祉における協働と連携を推進する能力	(1) チーム医療における看護及び他職種役割を理解し、対象者を中心とした協働の在り方について説明できる。 (2) 保健医療福祉サービスの継続性を保障するためにチーム間の連携について説明できる。 <u>(3) 地域や組織におけるケア資源を把握し、各専門職の専門性や役割を踏まえ、連携・協働の方法を説明できる。</u> <u>(4) 地域における人々の力を把握し、人々とともに健康・生活上の問題を共有し、解決に向けて協働する必要性や方法を理解できる。</u>	17) 保健医療福祉における協働と連携をする能力	(1) チーム医療における看護及び他職種の役割を理解し、対象者を中心とした協働の在り方について説明できる。 (2) 保健医療福祉サービスの継続性を保障するためにチーム間の連携について説明できる。

注：『学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時の到達目標(2011)』からの主な変更点

- 1) ⅡⅢⅣ群の6つの能力に関し、「能力」の表記をより地域志向に変更した
- 2) ⅡⅢⅣ群の6つの能力に関し、卒業時到達目標の17項目に追加する項目として17項目を提示した。